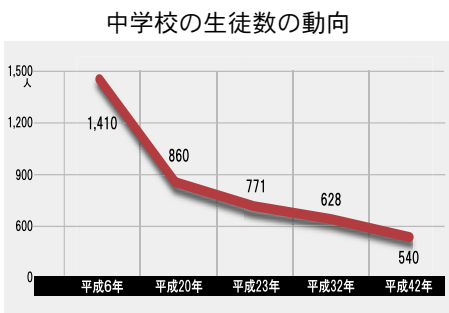


より良い教育環境の整備に向け 市立中学校再編成計画(原案)を策定

市教育委員会は、7月23日の教育委員会委員協議会において「統合形態、学校数、学区設定および校舎位置」の具体案を盛り込んだ「遠野市立中学校再編成計画(原案)」をまとめました。現在、各PTA・地区説明会を行いながら今年度末までの成案に向けた議論を交わしています。中学生のより良い教育環境の整備に向けた計画原案の概要についてお知らせします。

中学校再編成の必要性

本年度の中学生の数は八百六十人で、平成六年度の千四百十人に比べ、五百五十人減少しています。今後も減少傾向は続くことが見込まれ、三十二年には27割マイナスの六百二十八人になると推計されています。



生徒数の減少は、今まで行われてきた学校行事の実施や部活動の選択・運営などに大きな影響を与えます。教員数も、生徒数に対して定められているため、専門科目の免許を持たない教員が授業を受け持たなければならない状況が発生しています。これらは、社会人としての基礎を培う中学

生にとって極めて重要な問題です。生きる力を育成する教育の保障は教育行政の使命であり、責任です。ふるさと遠野を担う子どもたちを育てるためにも、一定規模の学校での生活が必要となってきています。

現八校を三校へ再編成

市教育委員会は、今後の中学校の望ましい在り方を検討するため、平成十八年二月に行政内部および中学校教員で構成する「中学校あり方内部検討委員会」を立ち上げ、教育懇話会、各町での市民懇談会を開催しながら検討を重ねてきました。その中で「中学校の再編成を考える時期である」と判断し、翌年六月に、各地域・PTAの代表者など二十七人で構成する「遠野市立中学校再編成検討委員会」を設置しました。

同委員会での検討は、中学生の活力あるより良い教育環境を整えるため、計十四回にもおよびました。その結果、三月二十八日に「学校数三校、学区の枠組み四案」という答申を市教育委員

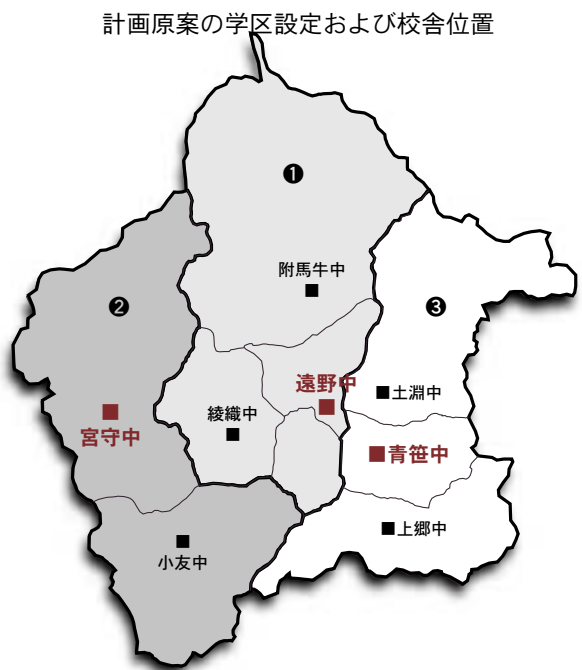


会に提出。この答申を受けた市教育委員会では、内部検討組織体制を整えて検討を重ね、七月二十三日の教育委員会委員協議会において「遠野市立中学校再編成計画(原案)」を策定しました。

計画は「生徒がふるさとに夢と誇りを持ち、郷土を担う人材としての基礎を培う『生きる力』を育成する教育を、保護者や地域と連携しあつて推進すること」を基本理念とし、次の九つの視点で策定しています。

- ◆今後二十年程度の見通しの中で再編成の効果が期待できる
- ◆各教科指導において免許を有した教員などを確保することができ、男女とも五種類程度の部活動ができる
- ◆通学距離、学区の歴史、学区の越境などを考慮し、全体として妥当性のある学区設定とする
- ◆既存校舎、用地の有効活用を図る
- ◆通学時間は片道一時間以内とする
- ◆小学校区と中学校区の整合性を確保する
- ◆地域と連携した生徒指導や学校経営を確保する
- ◆学校間の交流や切磋琢磨が期待できる

計画原案の具体的な内容は次のとおりです。
統合形態 すべて新設校(現八中学校すべてがこれまでの歴史を閉じます)
学校数 三校
学区設定「校舎の位置」 ①遠野小・遠野北小・綾織小・附馬牛小学校「現遠



時期	内容	計画
H20. 9	計画原案の調整	計画原案
H20. 10~12	計画案の作成 計画案の市議会説明 計画案の説明会開催	計画案 ↓
H21. 1~3	計画の序議確認 計画の教育委員会決定 計画の市議会説明 計画の説明会開催	計 ↓ 決
H21. 4~	新しい学校づくりに係る準備 (各学区ごとに協議会設置) 校舎施設整備	再編成 ↓ 準備

野中」②小友小・宮守小・達曾部小・鱒沢小学校「現宮守中」③土淵小・青笹小・上郷小学校「現青笹中」

意見をお寄せください

市教育委員会は、計画原案について市民の理解を得るため、七月三十日から九月一日まで、市内各十七カ所出席者総数は約四百三十人。出席者からは「生徒が新しい学校に安心して通える指導体制や通学対策を望む」「再編成時期はいつか「空き校舎の利用はどう考えているのか」など、さまざまな意見が出されました。これに対し「再編成時期と学校名は計画原案調整後、十一月の計画案で示し、議論を積み重ねながら、本年度までに計画

を成案したい。その後、再編成を迎えた生徒の動揺や不安が解消できるよう小学校時期からの交流を進めるなどの対策に取り組むとともに、各学区ごとに協議会を設置し、保護者、地域、学校が一体となって新しい学校づくりのための準備を行っていく」と回答しました。

市教育委員会は、説明会に参加できなかった市民の皆さまからの意見をお待ちしています。望ましい中学校のあり方とよりよい教育環境を実現するため、ぜひ意見をお寄せください。
受け付け・問い合わせ 市教育委員会 教務課 ☎04412内線281 ☏02789 メールアドレス kyomu@city.tono.iwate.jp
 ※各地区センターにある「市民なんでも相談箱」もご利用ください

市長ひとこと

「地元主義」

大雨や地震などが続いた今年の夏。それでも恒例のイベントは、皆さまの熱い思いに支えられ、盛会に開催されました。

松崎観音祭では、女性ハンドコーラスグループ「花薫組」が、その日のTシャツで手話を交えた歌を披露。元気な歌声とやさしい身振りが、会場をさわやかな雰囲気包んでいました。ふと見れば、Tシャツには控えめな文字で「地元主義」の四文字が。祭りには、参加する人、裏で支える人などの地域力が集約されています。遠野の元気はその地域力の積み重ねの上に成り立っているもの。「地元主義」の文字と元気な歌声が、遠野の元気を象徴しているようで本当にうれしくなり、思わず、手話と「握手」を表現しました。

実りの秋を迎え「日本のふるさと遠野まつり」が開催されます。笛や太鼓の音色に合わせ舞い踊る郷土芸能の数々。それぞれの地域力が今年もふるさとの秋に彩りを与えてくれることを期待しています。(本田敏秋)